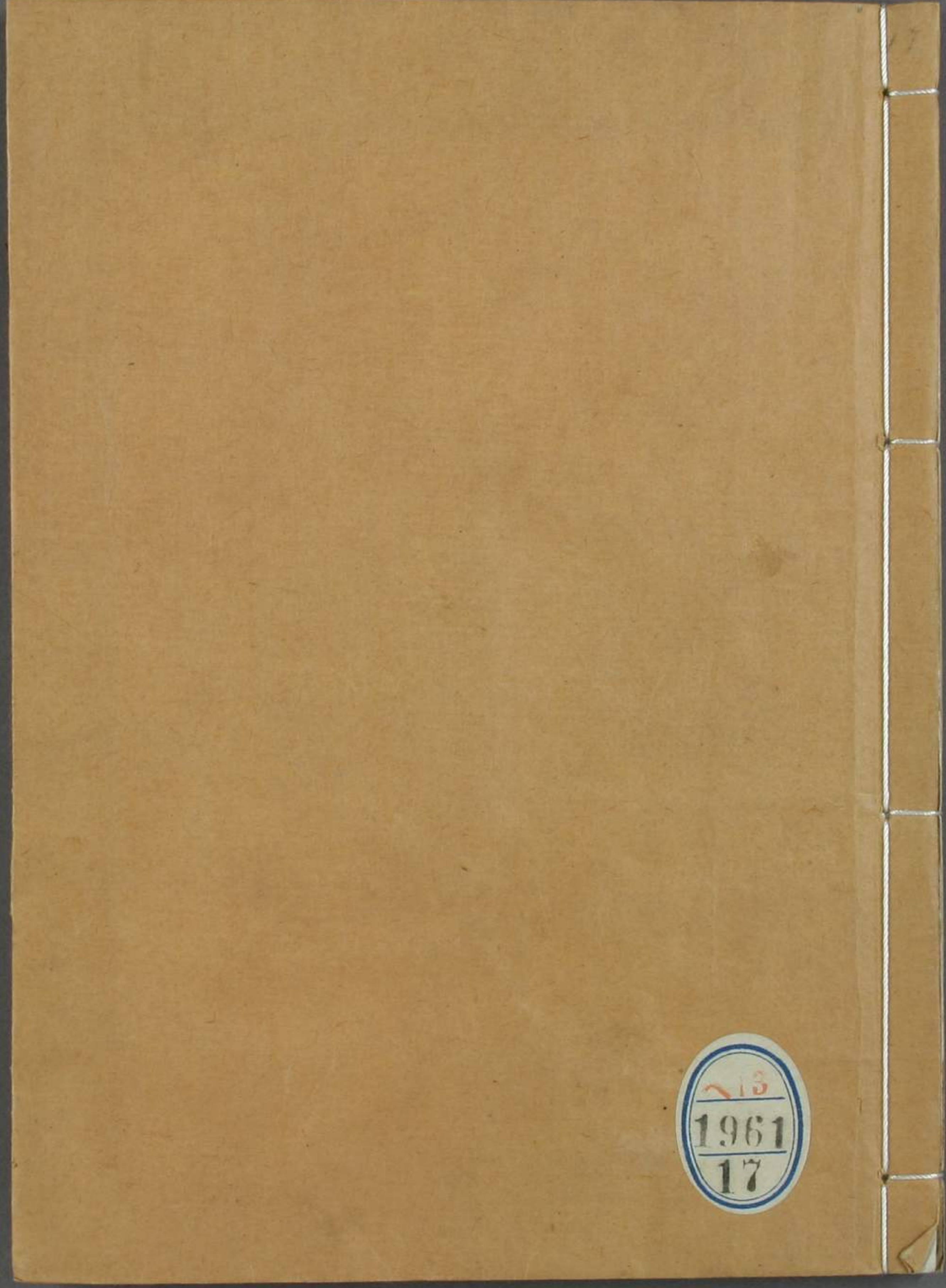
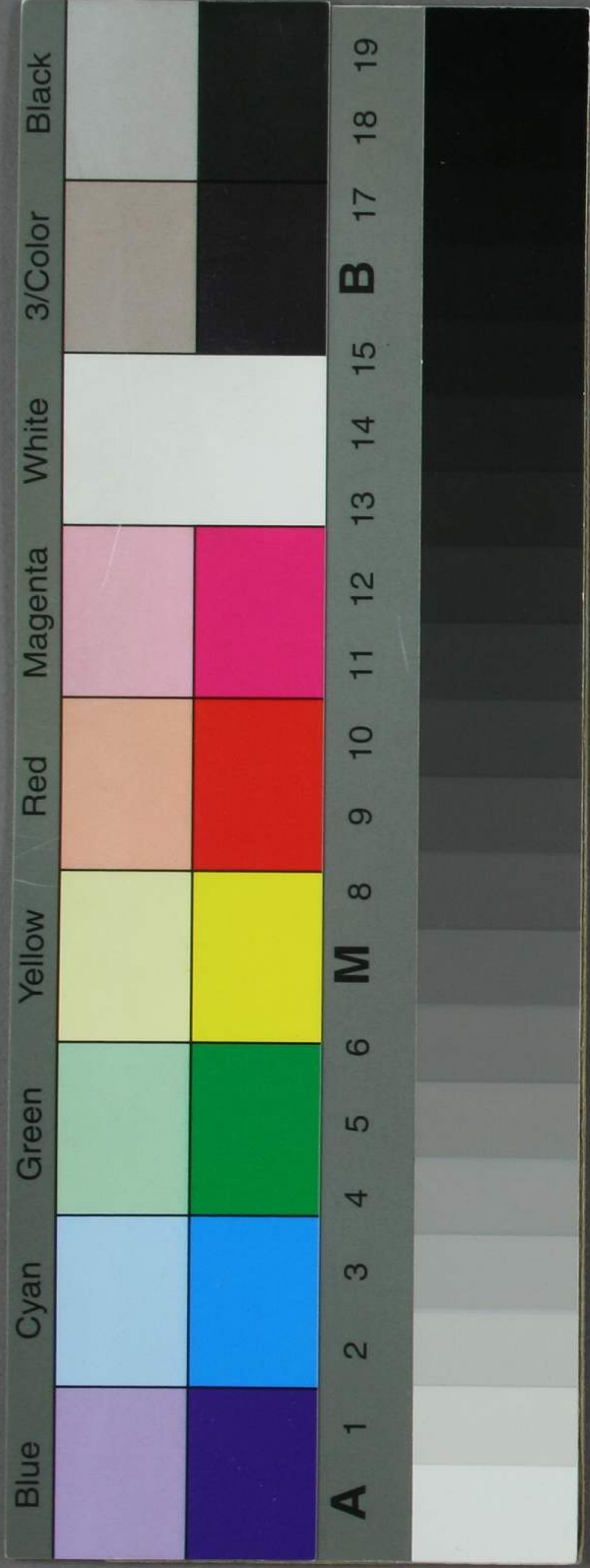




寫したらしい外題から見るとこれは
所謂寛政五年の改題再版か

寶器の宝(二)

江戸生浮元蒲焼

卓傳画作

17
遠
161
1482



いかうもんくわきそのひすてもんうとく
 いちやくこまうくいげんやがわれて
 うけとすうもんぶさう
 うとめいさう
 う代もんういふ
 母さんういふ



めんろ
 るるや
 とまる
 しひ
 せんて
 あれが
 うつ
 さと
 する
 らい
 りふ
 りふ
 町内では
 あらねい
 はうへあ
 のいこ
 うき
 なで
 中のうかま
 まつや
 ゐる井
 きさ
 んぞり
 いづ
 えや



こひき
うで
すん
すん
すん
すん

志
 人
 人



七
あつらんあつらん
せんぞのあつらん
あつらん

虎の尻の油

ついでに、
くろくでやま
りらと
ゆくのめが
ちきれハ
そり合ガ
さいと
まめみ
ともあゝ
かきりら
さへよく
おけを
さうゆうハ
のぞまるねと
いふらやけん
こそ中ずらひ
女とちてり
令三百ある
りるけし
わくあり



小
雪
无
用

花山書

大かこきうふい
 りんをいふ
 必ふまいハ
 ちされまふ
 まふ
 のみん
 てしそよ
 やさ
 くら

其
 方
 其
 方
 其
 方

大...
病...
一...
英...

かくてのあつた女はなほいと
 ぐひしきありてはやりうらうら
 けりどもこゝまづはなうそ
 いてはひびくふせうらゆ
 るわちあんく若あてあてうき
 あけうらうちうんいんどうふ
 わいゆのいれうひとつて
 いふふゆうなまうが
 かつちんごうれいごり



母と
中
ついでに
せうど
ざい
くらハ
木ん
どこか
ゆさ
きうと
まふとの
ごんて
ぐんと
ゆれ
むくり
これらも
しとほ
あつた
ふいふ
みづが
あしきの



てはぐちれぐちえらるとわうらうの大じんぐ
ゆけとやうてやうそやまきうとようでうとと
りまうらのそまうらのよさいとようす
うんである六百なぐりのわあるのさ



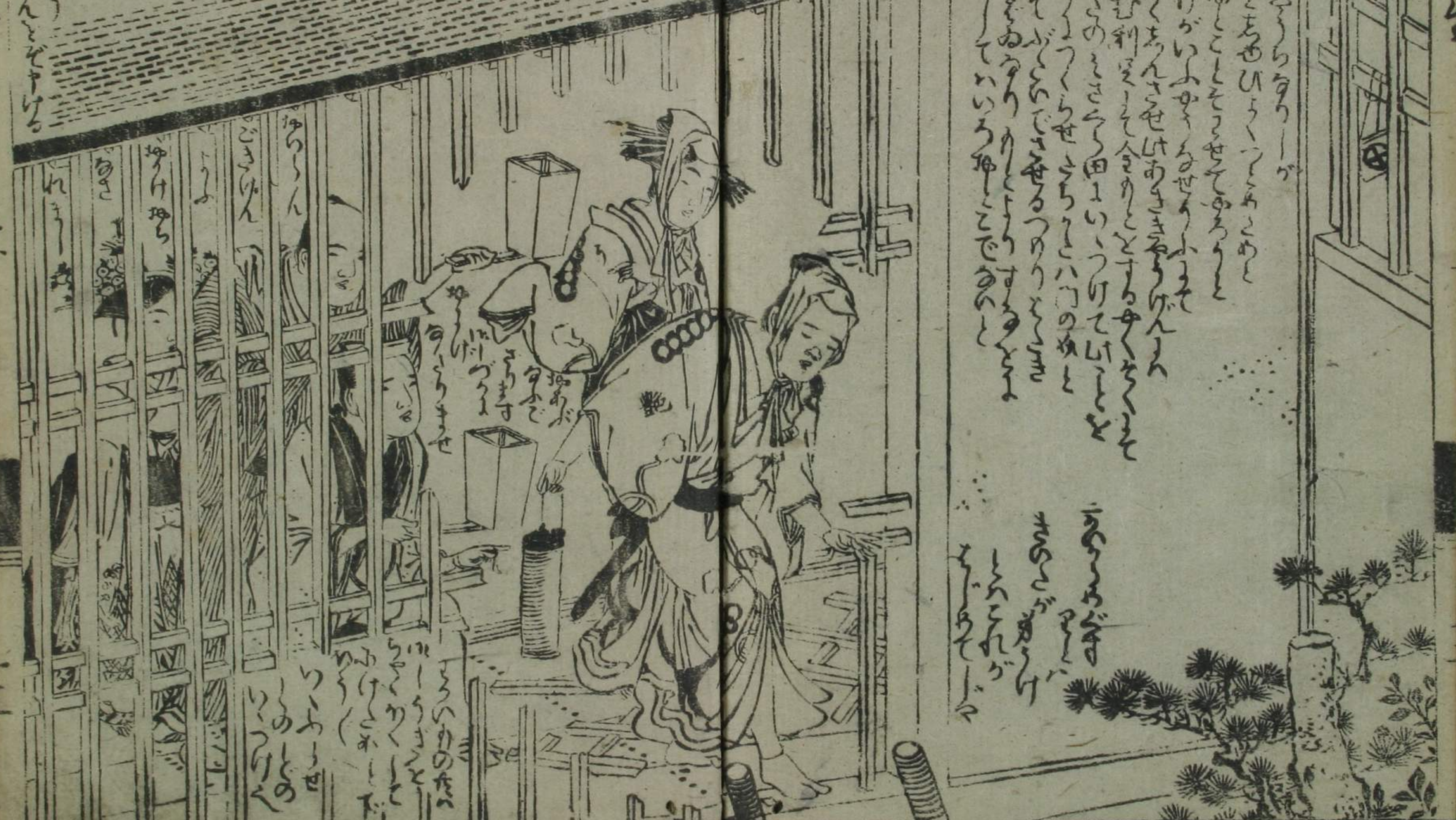


[illegible][illegible]

本は日るるの
 くらどろろと日ざりが
 ありて けふは
 ひきどろろと日るる

多分、つてゐるや、
あつてゐるや、
あつてゐるや、

[illegible]

[illegible]



此の如き
はるかに
乃の奥敷肌

朝色
色もくもく死に可なり

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく



あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

あつちのうらなひのせきもくもく
ひのうらなひのせきもくもく

おしり

北尾政演画

京傳作





